

編集・発行 湘南希望の郷 〒252-0825 藤沢市獺郷 1003 TEL0466-48-4500

- 夏の入浴レポート ············· P1 意思決定支援・誌面展覧会 ······ P2

- - せせらぎ会・希望のバトン ······ P3 リハ室の小窓・小説家が夢 ····· P4



今年も猛暑といわれる日が続いています。いくら冷房の中にいるといって も、夏の疲れや汗ばんだ体を癒してくれるのは何といってもお風呂です。 今回は皆さんが大好きなお風呂事情をレポートです。

湘南希望の郷では、月曜日から土

曜日まで入浴支援を行っています。歌ったり、笑ったり、 時には人生相談されたりすることもと、入居者の皆さんと密に コミュニケーションが取れる機会でもありますので、支援する 職員にとっても大切な時間となっています。

「すべての方に安全に入浴してもらうために…」湘南希望の 郷には、寝た姿勢で入浴できる「寝台浴槽」と、公衆浴場の様 な大きな浴槽がある「一般浴室」の二つの浴室があります。障 害から座ることが苦手な方へは、寝た姿勢で入浴ができる「寝 台浴槽」で。歩くなどして移動ができ、椅子に座ることができ る方へは、一般浴室で入浴して頂いています。また、障害から 移動が苦手だけれど、椅子に座ることができる方もいます。そ の場合は、天井を走行できるリフト(体を持ち上げて移動でき る機械)を使って、浴槽はもちろん、浴室内を自由に移動し、 一般浴室で入浴をして頂いています。一般浴室の浴槽は跨ぐ必 要がありません。浴室の床から浴槽の淵まで平坦になっており、 容易に浴槽に浸かることができます。

この他にも、湘南希望の郷がこれまで培ってきたノウハウを 活かし、手すりの設置箇所や、浴槽までのスロープ・階段・緩 衝床材など、入居者の皆さんが安全に入浴できる工夫が随所に 為されています。

安全な浴室で入浴された皆さんは、いつも笑顔が絶えません。 きっと心も体もリフレッシュできている証ではないでしょうか。











こんなにたくさんの作品ができました。

日中プログラムで作成したいろいろな作品が、1階の縁側のお部屋に展示されて半年が経ちました。ときどき新作に並べ替えたりしながらご鑑賞いただいてはいるのですが、コロナの感染拡大によりご家族様にはなかなか施設への訪問もかなわず、作品をご紹介するチャンスが少なくなっています。絵画や陶芸など日々の取り組みの中で出来上がった傑作品。写真ではありますが、ぜひご堪能ください。









意思決定支援 湘南希望の郷の取り組み 部門統括 村井 良行

意思決定支援については障害者総合支援法の基本理念に「どこで誰と生活するかについての選択の機会が確保」と規定されています。意思決定支援とは、自ら意思を決定する事に困難を抱える方でも、自らの意思が反映された生活を送ることができるように支援することではないかと考えます。

意思決定というと重たく感じますが、「はい」や「いいえ」と選択することも意思決定といえるのではないでしょうか。

湘南希望の郷でも、可能な限り本人が自ら意思を決定できるよう、意思の確認や選好の推定を大切に 支援しています。また、発語が困難な方には、本人の表情や文字盤・絵カードなどの工夫を行い、安心 して自信をもって自由に意思の表出ができるよう支援を行っています。本人と意思疎通を丁寧に行うこ とで信頼関係が深まり、自らが伝えようとする意欲が高まり意思決定に繋がると考えます。

職員一同、ひとり一人としっかり向き合い、入居者の皆様の自己実現につながる支援を目指していきたいと考えています。



来たる9月23日は秋分の日。

ひらたく言えば、「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉通り、この頃を境にして残暑が影をひそめ季節は本格的な秋の装いを始めます。俳句では、夏の季語として定番の蝉や蝉時雨ですが、さすがに立秋を過ぎてからの蝉の声は、行く夏を惜しむ一抹の哀愁を漂わせています。

元来、日本では豊かな四季の営みと大自然を敬う深い精神性が息づく文化的土壌がありました。戦争や災害の負の遺産を碑(いしぶみ)として、未来を生きるもの達に教訓として伝え残して来ました。

人間は自然界の一部とする思考を謙虚に学び自然との共存共栄を計らわなければなりません。混迷する世界情勢。昨今のウクライナ危機は、21世紀を生きる私達に、戦争の脅威をリアルタイムで突き付けるものとなりました。

いまだ続く世界的な感染症の拡大や環境問題など、より強固な人類の結束が求められる時代。人間同士が殺し合う愚かな戦争は、一日も早い終息を計らわなければなりません。ロシアの文豪トルストイの代表作、「戦争と平和」に書かれた言葉、「他人の不幸の上に己の幸福を築いてはいけない」を人生の指標として、よくよく肝に銘じたいものです。

さて、今年も早九月を迎えました。遅くなりましたが、 今年度の自治会費納入をお願い申し上げます。会費は 昨年同様の千円で、納金方法は例年通りおこないます。 文責.自治会(K.I)



「家族・支え」

湘南希望の郷 広田勝紀

松本綾子さんからバトンを受け取りました。

「湘南希望の郷」の広田勝紀です。光友会に入職して20年目に入ります。私の今があるのは、いつも変わらず、優しく接してくださっている入居者の方々やご家族の皆さん、そして温かい気持ちで支えてくださる職員の皆さんのお陰だと感謝しています。

今回は私にとって長年の心の支えであった、愛犬のお話しをします。名前は「ハナ」犬種はパピョンの女の子です。私が光友会に入職して、2年目の20代の頃に出会いました。パピョンには珍しいオレンジと白の毛並みのフワフワした可愛い仔で、小さな頃から物怖じしなく活発で、物覚えが良くとてもお利口さんでした。人が大好きで、一度会ったことがある方はもうすぐに「友達」となってしまうような仔でした。誰からも愛されるその姿からは、人を大切にするということなど、飼い主の私の方が学ぶことが多くあったように思います。元気に駆け回っていた彼女も、高齢になるにつれ少しずつ体力も落ち、具合が悪くなることが多くなり、15歳で「虹の橋」を渡っていきました。

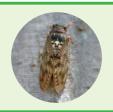
今でも忘れられない事は、ハナが入院した時、お見舞いに行くと尻尾を大きく振り、満面の笑顔で抱きついてきたことです。「家族なんだなぁ」としみじみ思いました。

「虹の橋」は、たくさんの動物達が仲良く楽しく過ごしていて、その場所で家族を待っていてくれると聞きました。今でもたくさんの愛情をくれたハナには、胸を張って会えるよう頑張らねば、と思っています。

次のバトンは、湘南希望の郷 田中亜紀子職員に渡します。

獺郷の夏 寝ても覚めても 蝉の声

梅雨が明けたとたんに騒がしいほどのBGM。犯人は、高い木の上で思う存分鳴きまくるアブラゼミ。抜け殻を見つけると、思わずつまんでは一瞬懐かしい感傷に浸る。いささか涼しくなった夕方はツクツクボウシに癒される。獺郷の夏は今年も変わらない。



小説家が 夢 なんです

私の名前はペンネーム「龍」といいます。 いいアイデアや、いろんなシチュエーショ ンが浮かぶとすぐパソコンの前に座って書 き留めます。そうです。私は小説を書いて いるのです。ジャンルは特別決めてはいま せんが、逆に幅広くいろんな表現ができた らいいなと思っていろいろ書いています。 施設に入所してからもいろいろな出会いが あって、構想も豊かになったのでしょうか、思い浮かんだことをたくさん書いています。皆さんに楽しんでいただける作

品ができたら、希望 通信で連載しても らってご紹介したい ですね。その時まで 「龍」覚えていてくだ さい。





訓練室に昔からあるリハビリ機器の一つに起立台(ティルトテーブル)というものがあります。これは傾斜角度を自由に設定して、寝たままの状態で立つ練習ができる可動式のベッドのことです。このピンク色の可愛らしいベッドはとても機能的で、立つ練習はもちろん足首の角度を調整することでアキレス腱のストレッチができたり、足の裏に体重が乗る感覚を感じることで姿勢を保持しようという意識が持てるなど様々な目的で起立練習を行うことができます。また起立台を使用すると長時間安全に立つ練習が可能になり、介助する側もされる側もお互いの負担を減らすことができ、「辛い」「きつい」と思われがちなリハビリも安心して取り組むことができます。

訓練室から馴染みのある優しいメロディーが聞こえてきたら、それ は起立台終了の合図。起立台で立つ練習をしている入居者さんのほっ とした表情が毎回印象的です。

◆9・10月の予定



健康課より

9月の予定

藤沢病院 石井 Dr. 来診日未定

厚誠会歯科検診 6日(火)13日(火) 20日(火)27日(火)

御所見病院 多田隈 Dr. 来診 7日(水)21日(水)

10月の予定

藤沢病院 石井 Dr. 来診日未定

厚誠会歯科検診 4日(火)11日(火)

18日(火)25日(火)

御所見病院 多田隈 Dr. 来診 5日(水)19日(水)







暑さが続いていますがいかがお過ごしでしょうか?

夏、私が楽しみにしていることの一つに、カブトムシやクワガタを玄関先や駐車場で見かけることです。どこから飛んでくるのか、今年も見つけましたよ! 子供の頃、早起きして親と虫取りに出掛けたことを懐かしく思い出します。

皆様、熱中症や感染症対応に気を付けて頑 張って乗り切りましょう!





(K•H)